

まるりん通信

第167号 平成26年5月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団

Tel.42-2911 FAX49-1018



第2回 国際照葉樹林サミット in 屋久島

2014年6月6日(金) 照葉樹林文化講演会

時間 19:00~21:00

場所 屋久島環境文化村センター(宮之浦)

2014年6月7日(土) 国際照葉樹林サミット

時間 10:00~18:00

場所 屋久島離島開発総合センター(宮之浦)

2014年6月8日(日) 現地見学会

(口永良部島コースは~9日まで)

場所 屋久島, 口永良部島の各フィールド

※現地見学会については、別紙チラシ及び裏面をご覧ください。

主催: 第2回国際照葉樹林サミット in 屋久島実行委員会

※詳しくは、折り込みチラシを

(屋久島町、公益財団法人屋久島環境文化財団、屋久島生物多様性保全協議会)

ご覧下さい。

第3回 屋久島研究講座

『照葉樹林文化論から竹林文化論へ

—南九州と東南アジアとの比較の視点から—

講師: 川野 和昭(南方民俗文化研究所主宰)

『島嶼域における自然の垂直利用

—シマ(集落)遺産をマネジメントする—

講師: 中山 清美(奄美群島文化財保護対策連絡協議会会長)

※受講証明書が必要な方は前日(6/5)までに文化村センター(Tel 42-2900)にご予約下さい。

開館17年記念

「研修センターオープンデー」

研修センターってどんなところ?どんなことができるの?オープンデーはそんな疑問にお答えします。いつもは、研修等でしかできない理科工作や自然観察などを無料で体験できます。

開催日: 平成26年6月22日(日)

会場: 屋久島環境文化研修センター

時間: 9:00~13:00

参加費: 無料

内容: スライムづくり, ミツロウキャンドルづくり, 7000年の森観察など

その他: 送迎はありませんので、直接研修センターにお越しください。子供たちは大人と参加してください。

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。



第2回自然・文化体験セミナー

屋久島感動めぐり~水の島に触れる1日~

シュノーケリングと海岸の貝殻拾いなどを予定しています。屋久島は海にも自然がいっぱいです。ご参加お待ちしております。

開催日: 平成26年6月29日(日)

対象: 小学5年生以上

(未成年者は要保護者同伴)

参加費: 1,500円(保険料込み)

申込締切: 平成26年6月15日(日)

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。



平成26年度

第1回 屋久島研究講座

『屋久島学の野外霊長類学最前線』

近年の解析機器の進歩により、微量のDNAなどから、これまで見えないものが見えるようになってきました。今回は京都大学理学研究科生物科学専攻の屋久島実習から最新の成果についてわかりやすく説明します。

講師: 阿形 清和(京都大学理学研究科)

実施日: 平成26年5月23日(金)

時間: 19:00~20:30(予定)

場所: 屋久島環境文化村センター(宮之浦)



第2回 屋久島研究講座

『巨大津波 痕跡を探る!』

講師: 七山 太 上級主任研究員

(独立行政法人産業技術総合研究所)

実施日: 平成26年5月24日(土)

時間: 19:00~20:30(予定)

場所: 屋久島環境文化村センター(宮之浦)

※受講証明書が必要なガイドの方は、前日までに、文化村センターにご予約下さい。

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。

休館日のお知らせ

文化村センター 5/20(火), 6/17(火)

研修センター 6/2(月), 9(月), 16(月), 23(月), 30(月)



お詫びと訂正

第166号まるりん通信の「インストラクター便り」につきまして。「サクラツツジの学名『*Rhododendron tashiroi*』は田代善太郎にちなんで付けられた」と説明しましたが、鹿児島出身の植物学者で民俗学者でもある田代安定にちなんだ命名の誤りでした。

間違った内容をお伝えしたことをお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

この件に関しご助言、ご協力賜りましたガイドの林田様と高知県立牧野植物園の里見様には厚く御礼申し上げます。

解説

サクラツツジの学名は、田代安定がロシアの植物学者マキシモヴィッチに送った標本をもとに命名された。サクラツツジのみならず、マキシモヴィッチは日本を含む東アジアの多数の植物の分類、および学名の記載を行った。

安定は1884年、ロシアのサンクトペテルブルクで開かれた園芸博覧会に派遣され、その後マキシモヴィッチと知り合っている。マキシモヴィッチは安定をロシアの科学アカデミーの会員に推薦するなど、深く交流をした。

参考文献 小山鐵夫 (2000) 「牧野富太郎とマキシモヴィッチ」 高知県立牧野植物園

平成26年度第1回「のんびりゆったり里のエコツアー」

サバ節の里・一湊を舞台に、集落の隠れた魅力を探す里歩きです。知っているようで、意外と知らない屋久島の隠れた魅力、一緒に探してみませんか。

【お問い合わせ・お申し込み】

第2回国際照葉樹林サミット in 屋久島実行委員会

Tel 0997-42-0100 (屋久島町環境政策課内)

E-mail:kankyo@yakushima-town.jp

※同日里のエコツアーは宮之浦区、春牧区でも開催します。主催：公益財団法人 屋久島環境文化財団

開催日：平成26年6月8日(日)

時間：午前9時～12時(8時30分受付開始)

集合場所：一湊公民館(現地集合・解散)

内容：地元語り部によるまち歩き

定員：20名

対象：どなたでも

参加費：500円

申込締切：平成26年5月31日(土)

※今回は第2回国際照葉樹林サミット in 屋久島実行委員会との共催になりますので、窓口が屋久島町役場環境政策課になります。ご注意ください。

平成26年度財団新任及び転入職員紹介 屋久島環境文化村センター



あじさか しゅうへい
鯨坂 修平
(事務局次長兼
総務企画課長)

はじめまして、事務局次長の鯨坂修平(あじさか しゅうへい)と申します。約30年前、種子島に勤務以来、久しぶりの単身生活です。公私にわたり、屋久島を満喫したいと思っていますので、どうぞ、よろしくをお願いします。



ながよし だいいち
永吉 大一
(総務企画課長補佐)

初めての屋久島勤務ですが、みんなから「いいね!」「いいね!」と言われて、かなり期待してやってきました。屋久島の美しい自然の中で趣味の「散歩」を思い切り楽しみたいです。



まなべ ゆうや
真辺 佑也
(事業課主事)

分からないことばかりですが、屋久島を代表するビジターセンターとして、十分な情報発信ができるよう頑張ります。よろしくをお願いします。

屋久島環境文化研修センター



やまだし ま たかふみ
山田島 崇文
(研修課専門員)

博物館からやってきました。特に屋久島の外来生物や貝など興味を持って、訪れていました。自然ばかりでなく、ヒトや文化にも触れ、私自身成長したいと思っています。



はやさき あやの
早崎 綾乃
(研修課主事)

屋久島再発見をテーマに、地元屋久島に学び、貢献したいと思いますので、よろしくお願いします。



やまぐち しょうた
山口 翔太
(インストラクター)

一度屋久島に住んでいましたがこの春から屋久島に戻ってきました。屋久島のさらなる魅力を発見・発信していきたいと思っています。



いむら さくらこ
今村 桜子
(インストラクター)

大学院を卒業し今年から社会人となりました。自然の魅力だけでなく、里の魅力も楽しく伝えられるよう色んなことを屋久島で吸収したいと思います。

◆◆◆財団の活動報告◆◆◆

○まるごと屋久島研修講座～里編報告

屋久島に転入された方を対象に、4月20日に島内を1周しました。当日は雨でしたが、それもまた屋久島らしさを感じていただけたのではないのでしょうか。滝はいつも以上の水量で迫力満点でした。西部林道を散歩する頃には雨もやみ、サルやシカにも会えました。永田集落では、美味しい郷土料理を振る舞っていただき、里めぐりも実施しました。一湊ではサバ節工場を見学しました。里めぐりの様子は里めぐり推進協議会のFaceBookに掲載していますので、ご覧下さい。